

軌道の事故に備えて迅速な救助手順を確認！



立山砂防工事専用軌道（通称：トロッコ）には、工事関係者のほか、砂防事業の行政視察者、富山県が主催する「立山カルデラ砂防体験学習会」等の一般見学者を含め、多くの方が乗車します。このため、万が一の事故に備えて迅速な救助活動を行うための訓練を実施しました。訓練は負傷者の搬送過程を中心に行われ、レスキューシートやレスキューカートなどの取扱いや、搬送時の注意事項について再確認を行いました。

今年度の立山砂防工事専用軌道は、春の点検時に複数箇所で見られ、土砂除去や斜面对策工事、軌道の復旧工事が長期にわたりました。（トピックVol. 38で報告）

日時：令和6年10月28日（月）
9：00～10：00

場所：立山砂防事務所 別館・機関車車庫

実施内容：負傷者の救出・搬送
 ①負傷者の状況確認
 ②レスキューシートによる救出
 ③担架による搬送
 ④レスキューカートによる搬送
 ⑤モーターカーへの搬入
 ⑥搬送時の注意事項等

参加者：立山砂防事務所職員
 軌道運行管理委託受注者
 軌道保線工事受注者 など 約20名

1. レスキューシートによる救出

2. 担架による搬送

4. モーターカーへの搬入

3. レスキューカートによる搬送

